

# 議会だより

第43号

## 木津川市議会



ごみ袋有料化を決定	本会議	2~3
障害者通所施設の食事加算の継続	請願・意見書	4
加茂プラネタリウム閉館	常任委員会	5~8
20人が市政を問う	一般質問	13~22
市民と議会のつどい		23

輝ける未来に  
向かって  
(けいはんなプラザ)

# 有料化を決定

12月定例会は、12月1日から12月21日までの21日間の会期で開催した。承認2件・諮問1件・議案25件・議員提案5件・請願4件を審議し、議員提案2件・請願3件を除き、承認・適任・可決・採択した。

## 家庭系可燃ごみ有料指定袋制の導入

ごみ袋有料化の条例が、9月定例会で継続審査となった。

厚生委員会の報告を受け、審議を行った。(審査内容は6ページ参照)

## 反対討論

① 予定されている市民説明会が完了していない。

② 異なる収集方法に見合った単価になっていない。

谷川 光男

賛成多数で可決

(賛成12人・反対9人)

## 反対討論

ごみ袋の有料という強制力でごみは減らない。市民の自発的な分別減量を市は応援すべき。

宮嶋 良造

## 賛成討論

ごみ減量化・資源化の促進が目的である。収益はさらなる減量化施策に活用するとしており賛成。

谷口 雄一

④ごみ資源化施策を進めること。

賛成多数で可決

(賛成13人・反対8人)

## ふれあい農園の廃止

一般農業者や民間事業者が事業に参入しやすい環境にするために廃止。

Q 議会の決定を経て、利用者には知らせるのが筋。議会軽視ではないか。

## 反対討論

利用者の意向確認や閉園後のことも不確か。農業への理解と健康保持に役立つっており、残すべき。

西山幸千子

A 30年度の意向調査に合わせ、閉園予定をお知らせした。議会軽視ではない。

利用者・緑化協会に、廃止の協議はいつしたか。

A 4月ならびに10月に協議した。

賛成多数で可決

(賛成16人・反対5人)

## 加茂プラネタリウム館の廃止

施設の老朽化・利用者の減少により施設運営が困難な状況にあることから、今年度末で廃止する。

Q 今、天体ブームで、子どもたちが学べる施設。なぜこの時期に廃止か。

A 施設が老朽し、改修に多額の費用が必要。来館者が減っている中で、

③拠点収集に、市民が取り組める施策を検討せよ。

## 決議内容

① 広く市民の理解が得られるよう努められたい。  
② 収益は、減量化の促進、使途は公表すること。



31年4月から廃止されるふれあい農園



30年3月末で廃止される  
加茂プラネタリウム館

廃止に踏み切った。

**反対討論**

町民公募で出来た施設であり、住民への説明が不十分。跡地の活用が明確に示されていない。

河口 靖子

**賛成討論**

来館者数が低迷して収支赤字、今後の維持管理に費用必要。代替施設が市内にあり廃止に賛成。

森本 隆

**反対討論**

独自事業の努力で魅力発信し、極端な利用減少はない。地元からの存続要望を真摯に受け止めよ。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成12人・反対6人・  
退席3人)

**介護保険補正予算**

補正予算1億416万円で、総額49億1015万円とするもの。

**Q** 予備費8356万円は基金に積み立てるべきである。

**A** 介護負担の増加に対処するため予備費とした。

**修正動議を提出**

宮嶋・森岡から予備費8356万円を基金積立金へ組み替えとする修正動議が提出された。

**修正案賛成討論**

3年ごとの介護計画が基本。予備費に入れず、基金に積んで、保険料軽減に備えるべき。

西山幸千子

**原案賛成討論**

保険給付費や地域支援事業費の予測しない支出の伸びに対応できる。より安定した運営を期待。

高岡 伸行

修正案は賛成少数で否決

(賛成5人・反対16人)  
原案は賛成多数で可決  
(賛成16人・反対5人)

**木津老人福祉センターの指定管理者の指定**

引き続き、木津老人福祉センターの管理を、市社会福祉協議会に委託するもの。

**反対討論**

指定管理は特命指定ではなしに、公募によって

決定すべきだ。

森岡 讓

**賛成討論**

市社協は、本施設を今まで管理運営され、実績もあり、高齢者福祉の役割も発揮でき賛成。

島野 均

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)

**人事院勧告による職員給与等のアップ**

民間給与との格差是正のため、給与を平均0.2%、期末・勤勉手当を0.1カ月引き上げるもの。

全員賛成で可決

**人事院勧告による期末手当のアップ**

議員、市長・副市長、教育長の期末手当を0.05カ月引き上げるもの。

**Q** 特別職報酬審議会に諮るべき。

**A** 報酬額のアップではなく、諮る必要はない。

賛成多数で可決

議員・教育長

(賛成17人・反対4人)

市長・副市長

(賛成18人・反対3人)

**人事院勧告関連の補正予算**

人勤に準拠し、給与・期末手当を引き上げるため、補正予算2516万円増額するもの。

**反対討論**

一般職の引き上げは賛成。議員や市長などは市民の理解が得られない。予算も認められない。

宮嶋 良造

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)

# 請願

家庭系ごみの有料指定袋  
制の中止を求める

請願者

霜田 勤・中野やすこ  
辻野みさを・脇田 正利  
宮本眞理子

紹介議員  
宮嶋 良造・森岡 讓

賛成討論

ごみ有料化議案は可決  
したが、僅差であった。  
市民の理解は得られてい  
ない。有料化中止は当然。

宮嶋 良造

賛成少数で不採択

(賛成5人・反対16人)

ごみ袋有料化に対する  
市民意見聴取会の実施  
を求める

請願者

木津川市未来会議

紹介議員

九社前聿朗・西岡 政治

賛成多数で採択

(賛成12人・反対9人)

ゆきとどいた子育て環境  
を求める

請願者

木津川市いきいき子育て  
ネットワーク

紹介議員

宮嶋 良造・九社前聿朗

請願項目

- ① 洋式トイレの増加。
- ② スクールカウンセラー  
を各校に1人常駐。
- ③ 実態に見合った教員の  
増員。
- ④ 英語等専科教員の配置。

賛成討論

4つの請願事項とも文  
科省の調査でも必要だと  
言っている。4項目とも

採択すべきである。

宮嶋 良造

項目別採決の動議が提出。

全項目とも不採択

(採決は11ページ参照)

幼稚園給食の休止に伴う  
対応策を求める

請願者

倉田 理恵・新居 未央  
西村亜希子・野口 智子

紹介議員

九社前聿朗

賛成討論

給食は、食育の観点か  
らも重要。試算では31年  
度以降も給食センターで  
の調理が可能であり賛成。

九社前聿朗

賛成少数で不採択

(賛成8人・反対13人)

# 意見書

障害者通所施設の食事提  
供体制加算の廃止の見直  
しを求める

提出者

長岡 一夫

賛成者

高岡 伸行・島野 均  
森岡 讓・森本 茂

食事提供は、経過措置  
の加算ではなく、継続的  
な制度の運用を求める。

提出先

衆・参議院議長  
内閣総理大臣他

全員賛成で可決

福島第一原発被災者への  
健診補償を求める

提出者

酒井 弘一

賛成者

森岡 讓・長岡 一夫  
谷川 光男・九社前聿朗

被ばく影響を心配する  
人に甲状腺エコー検査を  
公的責任で行え。

提出先

衆・参議院議長  
内閣総理大臣他

賛成多数で可決

(賛成12人・反対9人)

安全・安心の医療・介護  
を守り実現するための診  
療報酬・介護報酬の改善  
を求める

提出先

衆・参議院議長  
内閣総理大臣他

賛成多数で可決

(賛成12人・反対9人)

提出者

酒井 弘一

賛成者

森岡 讓・長岡 一夫  
谷川 光男・九社前聿朗

安全・安心の医療・介  
護サービスを実現するた  
め、報酬の引き上げを。



安心して受けられる介護へ

## 加茂プラネタリウム館 閉館

### 総務文教委員会

12月5日に委員会を開会し、議案2件、請願2件を審査した。

全議案可決  
請願2件は不採択

#### 30年3月で加茂プラネタリウム館を閉館

Q 施設が開設された経緯は。

A 旧加茂町民の意見を募り、ふるさと創生で設置。開館は平成5年。

Q 閉館後の予定は。運営費の使い方は。

A きつづ光科学館ふおとんを利用。教育全般に使用したい。

Q 廃止後の土地利用は。

A 今後、検討する。

#### 反対討論

Q 利用者の推移は。

A 平成5年度9683人。28年度5286人。

Q 機器の不具合とは。

A 25年経過し、投影機の更新やキュービクルなどに5千万円以上必要。

○財源を理由の廃止は反対。避難所として利用できなくなる。

○宇宙を知る大切な空間施設。廃止後の利用が不明確。

賛成多数で可決  
(1人退席)

#### ゆきとどいた教育案件と子育て環境を求める請願

#### 賛成討論

家は100%洋式トイレ。カウンセラーは計画的に配置を。特別支援は努力を求める。専科教員は遅れている。

#### 賛成少数で不採択

#### 幼稚園給食の休止に伴う対応策を求める請願

#### 反対討論

教育委員会が方向性を示した。

#### 賛成討論

給食提供が未決定の中、保護者の不安がある。

#### 賛成少数で不採択

### 報告案件

小中学校・幼稚園空調設備の進捗状況

○事業方式

PFI(BTO)方式

○事業費 約15億円

○事業期間

30年6月から14年間

府加茂青少年山の家の運営停止

昭和63年に設置された府の施設。雨漏り、設備の老朽化等により30年3月末で運営停止。

テニスコート、ゲートボール場は使用可能。

## 研修報告

### 空き家の管理に工夫

11月20日、愛知県犬山市で「定住促進のための

空き家バンク制度」の研修を行った。

28年3月、空家等対策計画を策定し、空家を利活用する改修費の補助や、定住者に奨励金を助成している。

空き家件数は776戸。10月空き家バンクを開設し、掲載件数は25件、契約が成立した件数は10件。掲載予定が16件ある。

空き家の管理はシルバ一人材センターとの連携やふるさと納税の返礼品にしている。また、該当者にセミナーを開催した。

### 清潔感溢れる

### 給食センター

11月21日、愛知県刈谷市の新設学校給食センターの視察研修を行った。

9月から調理・配送している。最大1万食の調理が可能である。

建設費は約23億円。鉄骨造2階建て。延床面積4357㎡。敷地面積533㎡。鶏卵アレルギーの代替食を提供。



最新の給食センターを視察(愛知県刈谷市)

# ごみ有料袋制を可決

## 厚生委員会

12月6日に委員会を開会し、議案8件、議員提案1件、請願2件、報告1件を審査した。

**議員提案と  
請願1件を除き可決**

### 賛成公述人の意見

奥村 勝  
福井 康裕  
麓 忠雄  
(敬称略)

- ごみの減量は地球温暖化対策のため必要で、有料化は一定の効果。
- 資源には限りがある。
- 市の将来を見据えて受益者負担が必要。
- 市は減量トリサイクルに遅れ。有料化はインセンティブ効果がある。

### ごみ有料袋制

9月定例会に提案され、継続して審査を行った。

### 11月19日公聴会

公述人が意見を述べ、委員が公述人に質疑を行った。

### 反対公述人の意見

11月に3会場で行った議会報告会では、この議案をテーマにして、市民の意見を聞いた。特に木津会場で非常に多数の市民の参加があり、関心の高さを示した。

奥羽 真弓  
中村 好孝  
中川 盛雄  
(敬称略)

### 定例会中の委員会審査

#### 12月6日

- 住民置き去りの不十分な制度設計。議会が待ったをかけてほしい。
- ごみ袋を購入する市民は自治法に言う「特定の者」ではない。
- 市民に周知されていない有料化は行政不信に。低所得者に配慮を。

### 11月10日

公述人をくじにより、賛成3人(公述申し出は3人)、反対3人(同9

### 反対討論

もっと市民の意見を聞き、慎重に審議すべき。

### 賛成討論

審議会の答申を評価。行政は、ごみ減量目標達成に努力を。

### ごみ有料袋制の中止を 求める請願

賛成少数で不採択

賛成多数で可決



ごみ有料袋制の市民公聴会 (11月19日)

議会が市民の声を聞く  
ことを求める請願

可否同数  
委員長採決で採択

### 印鑑事例の一部改正

印鑑証明から性別記載欄を削除するもの。

Q 改正の理由は。  
A 総務省通知による。

Q 記載欄を変更することにより、経費は。  
A 今回はない。5年ごとの機器更新費用は61万円。

Q 住民票はどうなるか。  
A 住民票記載事項証明書から本人の申し出により、性別記載を削除する。

全員賛成で可決

### 手数料条例の一部改正

コンビニ交付の手数料を窓口交付より50円減額するもの。

Q マイナンバーカードの発行状況は。コンビニ交付の状況は。

A カード発行は9%で低い。コンビニ交付は横ばい。

Q 改正に必要な経費は。  
A 2462万円。

全員賛成で可決

### 老人福祉センター条例の一部改正

設置目的を「高齢者の各種の相談に応じ、便宜を総合的に供与」に、業務を「老人クラブの運営に援助等」に変更。また、山城老人福祉センターを日曜日も開館日にする。

Q 開館日を増やす理由は何か。  
A 利用者のアンケート結果による。

Q 経費と効果は。  
A 経費は年間58万円、500人の利用増加を見込む。

全員賛成で可決

### 木津老人福祉センターの指定管理者

引き続き市社協を指定管理者とするもの。

Q なぜ、公募しなかったのか。  
A 経験・実績があり、目的達成にふさわしいと判断。次回の選定では、公募も考える。

### 反対討論

特命指定は好ましくない。公募すべき。

賛成多数で可決

### 介護保険補正予算

繰越金1億416万円のうち、8356万円を予備費に増額するもの。

反対討論  
予備費増額は、巨額過ぎる。基金に回すべき。

賛成多数で可決

### 共同浴場条例の一部改正

30年4月以降も高齢者の入浴料を無料で、継続しようとする議員提案。

Q 高齢者の100円は、負担してもらわうべきだ。

A (提出議員) 高齢者のさまざまな負担が増える中、ささやかな高齢者サービスだ。

### 反対討論

施設改善の要望が大きく、入浴料100円に反対する声は少数。

### 賛成討論

毎日の負担では大きい。高齢者へのささやかなサービスだ。

賛成少数で否決

## 研修報告

### 家庭ごみ指定袋制

11月8日、「家庭系ごみ指定袋制」をテーマに静岡県伊豆市を視察。

伊豆市の指定袋は、家庭系ごみと事業所系ごみの2種類になっていた。

10ℓ10円、20ℓ15円、30ℓ20円、45ℓ30円の4種類は家庭用、70ℓ50円は事業所用。ごみ袋には氏名を記入する。

市民に対する事前説明は非常に丁寧で、一般市民向けと別に5つの区で区民に、さらに事業所向けに4会場で行われた。

市民アンケート結果は賛成44%、反対56%。

### 公立保育園の民営化

22年度から実施し、28年度実績では、ごみ量はほとんど変わっていない。また、資源化率が悪化していることが課題となっている。

28年度から実施し、28年度実績では、ごみ量はほとんど変わっていない。また、資源化率が悪化していることが課題となっている。



公立保育園の民営化を研修 (愛知県瀬戸市)

# ふれあい農園を 廃止

## 産業建設委員会

12月7日に委員会を開会し、議案7件を審査した。

全議案可決

### 市民農園条例の廃止

**Q** 廃止後、市は民間市民農園の開設をサポートしていく考えは。

**A** 長期的にサポートしていきたい。

**Q** 利用者からの問い合わせ内容は。

**A** 廃止内容の照会が9件、継続を希望する内容が3件、民間農園への紹介依頼が1件であった。

### 反対討論

○方向性が定かでない中で  
の廃止には反対。

○一部見直しをした上で  
継続すべきと考え、反対。

### 賛成討論

○利用状況・経費負担の  
あり方等を考え、賛成。

○時代の流れに沿った廃  
止のため賛成。

賛成多数で可決

### 市営住宅の管理条例の 一部改正

**Q** 改正の主な内容は。

**A** 認知症の方等の収入  
申告時に、本人に代わっ  
て、市が行えるようにす  
るもの。

全員賛成で可決



国交省と連携した浸水対策事業を研修（愛知県東海市）

### 給水条例の一部改正

水道メーターの検針を  
毎月から隔月に変更す  
るもの。

**Q** 隔月検針への変更で  
費用削減となるのか。

全員賛成で可決

**A** 経営改善につながる。

### 水道事業会計補正予算

**Q** 有形固定資産減価償  
却として974万円を減

額しているが、その詳細は。

**A** 28年度中に実施した  
水道管の工事や設備の改  
修工事などの費用や償却  
年数に基づき、再計算し、  
差額を減額するもの。

全員賛成で可決

## 研修報告

### 浸水対策事業の取り組み

11月16日、愛知県東海  
市で「浸水対策事業」の  
研修を行った。

2010年度に、5年  
確率規模の降雨に対して、  
対策が行われている。

具体的には、家屋無被  
害を目標に、国交省と連  
携をし、「100mm/h安  
心プラン」を策定。計画  
的な治水対策として、河  
道掘削、公園下への貯留  
施設整備、調整池の整備  
等を進めている。

### 水道事業の経営健全化

11月17日、岐阜県海津  
市で「水道事業経営健全  
化」の研修を行った。

海津市は、2018年  
水道ビジョンの改定にあ  
わせて、資産管理（アセ  
ットマネジメント）およ  
び経営改善を進め、経営  
基盤の強化を図っており、  
2017年3月に「下水  
道事業経営戦略」を策定  
された。

基本方針として、下水  
道の整備については、汚  
水処理施設の効率的な整  
備を進め、生活環境の改  
善が図られている。  
また、2020年度に  
公営企業会計への移行に  
伴い、経営戦略の見直し  
と経営の健全化を行い、  
維持管理・汚泥収集運搬  
・管渠調査業務の民間委  
託に取り組みられている。  
両市の取り組みを本市  
にも生かしていきたい。



# 台風21号の災害復旧と対策強化

## 補正予算特別委員会

12月12日に委員会を開会。一般会計予算を4億4759万円増額し、302億1590万円とするもの。全員賛成で可決。

### 主な質疑

#### 被災者住宅等の支援

Q 床上浸水の被災者に対する補助金額は。また、交付率は。

A 上限50万円とし、交付率は、100%。

Q 水害等、危険な建物について、市との協議はできないか。

A 浸水ハザードマップでの周知を図っている。

#### 土のうステーション設置

Q 現在の土のうの保管場所は。

A 加茂支所・山城支所。今後、民家向けの水害対策として、緊急用土のうステーションを木津町地

区と下川原地区内の5カ所に設置する。

Q 保管数と誰が持ち出すのか。

A 両支所には各200袋、折りたたみ式ステーションには100袋。地元自主防災会にお願いする。

#### 期日前投票所の設置

Q 新規の設置場所と開設時間は。

A イオンモール高の原内の西部出張所前通路。9時から20時。

#### 子育て世代包括支援センター開設

Q 具体的な体制は。

A 健康推進課内に保健

師を配置し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を実施する。

#### 障害福祉サービスおよび障害児通所サービス事業費の増額

Q 当初予算で増額が見込まれていたが、さらに増額となる要因は。

A いずれも利用時間数と利用者数の増加によるもの。

#### JR木津駅東西を結ぶ道路

Q 内垣外内田山線の進捗状況は。

A 用地交渉がまとまり、事務手続き中。順次工事を進める予定。

#### 山城ぬくもりの里のり面の復旧工事

Q 協定等の費用分担の協議内容は。

A 協議で折半。抜本的な取り決めを検討する。

#### 市民テニスコート改修工事費の減額

Q 工事の実績に対して、残額が少ないのはなぜか。(書面で提出を要求)

A 緊急を用いたので、中央図書館空調改修工事に流用した。(行政側より明細の提出を受けた)



台風21号により崩壊した山城ぬくもりの里のり面 (市有地)

### 補正予算の主な事業

- ・台風21号による災害復旧費・被災者支援 7842万円
- ・城山台小学校校舎取得事業 3億5935万円
- ・子育て世代包括支援センター新設 74万円

#### 【債務負担行為補正の事業】

- ・幼稚園・小中学校空調設備整備事業(2017~31年度) 15億1400万円
- ・排水ポンプユニット購入事業(2017~18年度) 5400万円

委員 長	谷口 雄一
副委員 長	長岡 一夫
委員	西山 幸千子
柴田 はすみ	
山本 和延	
伊藤 紀味枝	
炭本 範子	
谷川 光男	
片岡 廣	
倉井 克伊	
酒井 弘一	

# 30年3月 施設の完成を目指して

## (進捗率83%)

### クリーンセンター建設特別委員会

12月11日に委員会を開会し、進捗状況の説明を受け、質疑した。その後、現地調査を実施した。

9月～11月の施設整備工事の取り組み状況

- ① 建築工事の整備
  - 外壁施工、屋根敷設、外壁塗装、煙突の設置、電気設備の配線など。
- ② プラント工事の整備
  - ボイラーの水圧試験、投入扉、ごみ・灰クレーン、蒸気復水器等の据え付けなど。

### 主な質疑

- Q** 30年度の残工事は、外構工事等の一部。  
**A** 現時点ではない。  
**Q** 工事費の変更はないのか。  
**A** 現時点ではない。  
**Q** 府から東部塵芥のご

み受け入れの打診はあったのか。また、事業系ごとの減量対策は。

**A** 引き続き、強く求めたい。

**Q** 東部塵芥を含む広域の打診はない。また、事業系ごみは、公園などの草ごみは乾燥して、処理するなど、減量に取り組む。

**A** 引き続き、強く求めたい。

**Q** 煙突の耐震基準は。火力発電所と同じ耐震基準。

**A** 引き続き、強く求めたい。

**Q** 83%の工事費の支払いは。出来高75億円に対して、40億4千万円。

**A** 引き続き、強く求めたい。

**Q** 府道の拡幅を府に強く求めるべき。

**A** 引き続き、強く求めたい。



完成間近の環境の森センター・きづがわ

## 平成30年 第1回(3月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
2月	15日	木	議会運営委員会 (議会招集告示)	第1委員会室(5階)
	22日	木	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
	23日	金	本会議 (予備日)	議場(6階)
	26日	月	本会議 会派代表質問	議場(6階)
	27日	火	本会議 会派代表質問	議場(6階)
3月	1日	木	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	2日	金	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	5日	月	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	6日	火	クリーンセンター建設特別委員会	第1委員会室(5階)
	7日	水	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
	9日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	12日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	13日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	15日	木	予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	16日	金	予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	19日	月	予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	22日	木	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	23日	金	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
26日	月	本会議 (予備日)	議場(6階)	

・日程については、変更となる場合があります。  
 ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。  
 ・本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しく下さい。  
 ・次回議会日程の他、今までの本会議の様式や議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。



# 組合議会報告

## 地域医療支援病院へ

(山城病院組合)

している木製浴槽1台の更新費用70万円を計上。

105万円、基金積立金1455万円。

10月30日、定例会開会。承認1件、同意1件、認定2件、議案1件を審議。

一般質問では、自立支援医療制度、看護師の待遇改善、認知症疾患医療センターとしての取り組みの質問があった。

監査委員に武田治氏を選任。

全員賛成で承認・同意・認定・可決

Q 線下補償金、財産収入はこのままで推移するのか。  
A 契約の見直し時には、減少方向にある。

全員賛成で認定

和解案件として、入院患者(1歳乳児)の点滴漏れによる皮膚潰瘍発症の損害を賠償。

線下補償金は減少方向に

(加茂笠置組合)

28年度の病院決算は、7期ぶりに約1億2294万円の支出超過。

11月1日、定例会開会。認定1件を審議。

11月27日、定例会開会。認定1件、議案1件を審議。

28年度決算は黒字

(相楽中部消防組合)

経営計画に基づく医師と看護師の給与費増加。

28年度決算は、収入2089万円、支出1910万円、差引179万円の黒字。

28年度決算は、収入14億1671万円、支出13億8354万円。実質収支額3317万円の黒字。

老健やましろの決算は、入所者数の増加で約110万円の純利益を計上し、3期連続の黒字決算。

収入の主なものは、線下補償金1334万円、財政調整基金繰入金126万円。支出の主なものは、線下補償組合負担金

29年度一般会計補正予算は、1710万円を増額し、収入支出14億3470万円とする。

29年度一般会計補正予算は、1710万円を増額し、収入支出14億3470万円とする。

内容は、分担金及び負担金の減額。使用料及び手数料、繰越金、諸収入の増額。

全員賛成で認定・可決

「合特法」の趣旨を踏まえた措置

(広域事務組合)

11月27日、定例会開会。同意1件、認定2件、議案1件を審議。

可決

全員賛成で同意・認定・可決

28年度特別会計決算は、収入2560万円、支出2275万円。

公平委員に井澤孝子氏を選任。

28年度一般会計決算は、収入3億5561万円、支出3億5343万円。

28年度決算は、収入4億435万円、支出3億7467万円。実質収支額2968万円、その内1500万円を打越台環境センター撤去整備の基金へ積み立てる。

打越台環境センター撤去整備に基金積立

(西部塵埃処理組合)

全員賛成で認定・可決

11月30日、定例会開会。認定1件、議案2件を審議。

環境の森センター・きづがわの供用開始に伴う事務用備品の購入に花喜商事社と1058万円で契約。また、電算機器の購入に扶桑電通(株)京都営業所と1803万円で契約。



37年間稼働の打越台環境センター



民間事業者の活用を積極的に（家庭的保育事業）

保育サービスの対策は万全か

民間の活力を十分に活用したい



木津川の会

谷川 光男

**Q** ①藍咲学園の入園状況と30年度の応募者数は。②待機児童の実態・隠れ待機児童数の実態と対策は。③30年度待機児童の見込み数は。④家庭的保育運営事業者の実態は。⑤就労形態に見合った対策は。

**A** 市長・健康福祉部①現在140人。12月1日時点11人。残りは30年1月実施。②待機児童54人。隠れ待機児童21人。③待機児童は出ない見込み。④検討している事業者がある。⑤民間の活力を活用する。

災害を未然に防ぐ対策は

**Q** ①台風21号による防災行政無線の実態は。②移動式ポンプの使用状況は。③山城地域の洪水標識板は。④家屋倒壊等氾濫想定区域における対策は。⑤戸別受信機の申請は。

**A** 副市長・総務部他①試験的に肉声で放送。聞き取りにくい箇所有り。②西澱樋門等で稼働。③今年度中に設置。④ホームページに掲載。⑤現在、申請なし。

住宅地付近の雑草対策は

**Q** 耕作放棄地の指導は。

**A** マチオモイ 30年度現地確認を実施。

収集方法の統一と資源化対策は  
先進自治体を調査し検討する



民主未来クラブ

西岡 政治

③実施前に市民説明会を。

**A** 市長・市民部①拠点収集地域に配慮した取り組みを検討する。

②先進自治体の取り組みを調査し、検討する。

③今後とも、引き続き積極的に進める。

JR駅の環境改善を

**Q** JR奈良線沿線では、奈良線複線化を見据え、駅舎等の環境整備が行われている。

本市のJR棚倉・上粕両駅の環境改善を求め、次の事項をたずねます。

**A** マチオモイ①年内に洋式化が完了する。

②JR西日本と駅舎管理事業者および市で協議する。

③JR西日本に要望する。

**Q** 家庭系可燃ごみ有料指定袋制の住民説明会および議会報告会・公聴会における市民の意見や思いを踏まえ、市の考え方・取り組みをたずねます。

①ごみの拠点収集への統一化を。

②庭木剪定、草木や生ごみ（厨芥類）の資源化を。



乗降しやすい上粕駅に

育児休業中の保育認定要件緩和を

保育ニーズの動向を鑑み検討する

**Q** ①育児取得前に既に入所している児童がいる場合の継続利用に係る保育要件は、他市の規則を参考に緩和すべきと考えるが。②公立保育園の認定こども園への移行を早めるべき。③市民目線から、教育と保育の事務一元化をすべき。

**A** 健康福祉部①厳しい状況だが、参考に検討する。②いづみ・やましろ両保育園は、2024年度に移行予定。③事務の一元化は、今後の研究課題と考える。



さくら会

倉 克伊

市内の道路の安全確保を

**Q** 冬のカーブミラーは曇って危険。早急な対応を。

**A** 総務部 防曇効果のミラーもあるが、予算確保が難しい。今後は、危険箇所も含め検討する。

**Q** ①樺井バイパスJA西側は事故が多発。安全確保を。②遅れている不動川トンネル・天神川橋の整備は。

**A** 建設部①市道側には注意喚起や路面標示を行った。今後も安全確保の向上に向け、協議する。②トンネルの工法は高度で費用が多大。事業は府内全体のバランスを考え、検討すると聞いている。



2024年度に認定こども園に移行予定のやましろ保育園



ICT教育に必要な電子黒板 (市内中学校)

電子黒板の整備を進めよ

30年度に全学級に配置する

**Q** ①府立南陽高校に設置される中高一貫校の影響は。②ICT機器設置状況は。電子黒板は早急に小中学校全学級に配置せよ。③ICT教育のビジョンは。

**A** 教育長・教育部①グローバル人材の育成を中心に市内の中学校に

①生かせるものを研究する。②電子黒板は、小学校全学級、中学校の3分の2。2018年度に全学級に配置する予定。③2020年度からプログラミング体験等を進める予定。



さくら会

森本 隆

インバウンド政策を提案

**Q** 関西では、この5年で外国人観光客が約6倍に増加している。市の政策を問う。

①市のインバウンド政策の現状は。②JR木津駅、近鉄高の原駅に関西国際空港行きのバス停を。③

インバウンド消費を取り込むために、ふるさと応援事業の成功事例は。  
**A** マチオモイ他①市内主要観光地でWi-Fi整備等を実施した。②運行事業者にバス停設置を要望する。③上狛茶業において、商品開発など地域経済向上につながっている。



懸命な排水作業（木津合同樋門）

### 木津合同樋門の排水能力の強化を

#### 常設排水ポンプの増設を検討する



さくら会

伊藤紀味枝

に放流した。川は放流でき構造になっていない。今後は、補強等十分に府との協議をして、進めていく必要がある。⑤市道335号はどのような道路の法線が必要か検討。接道する道路工事は順調に進んでいる。

**Q** 排水ポンプを増設したが、台風21号時、4年前と同じ浸水被害が起きた。①都市計画や住宅開発時においての問題点が浮き彫りになった。考えは。②他の樋門に比べて、流域面積に対して排水ポンプが少ない。最低どれぐらいの排水ポンプ能力が必要か。③水路の拡幅整備は。④リサイクル研修ステーション北側で、反田川から井関川へ放流の考えは。市の中心的施設が集中しており、急がれる。最小限度の金額で効果がある方法とと思うが、考えは。⑤市民を守るための道路網の整備が急務である。状況は。

**A** 建設部①開発業者と協議する中で、ハザードマップ等できる限りの情報提供をしていく。②排水能力は十分ではないと認識。常設排水ポンプの増設を検討している。③考えていない。④台風時は府と協議し、緊急的

### 住宅要配慮者に空き家の活用を

#### 居住支援協議会で検討していく



公明党

柴田はすみ

討する。③79-10395番に電話をしてほしい。ごみ減量施策の周知を

**Q** 市営住宅入居申し込みの状況は。

**A** 建設部 全体では、1.2倍から1.6倍で全国平均よりは低いですが、希望の多い住宅は、28年6月の募集で約15倍である。

バンク」の状況は。マチオモイ 現在3件の登録。宅建業協会と連携協定を締結しているため、課題を共有して進める。

**Q** 住宅セーフティーネット制度は、空き家の活用が重要だが「空家

さらなる災害対策を

**Q** ①避難所に災害型自販機設置を進めては。②マンホールトイレを避難訓練等で利用しては。③防災行政無線が聞き取りにくいとの声が多い。内容を確認するには。

**A** 総務部①現在3台。業者から提案があれば進めていきたい。②検

**Q** ごみの分別方法を積極的に周知せよ。

**A** 市民部 地域に出向いて啓発する計画を考えている。

**Q** ごみ減量化へ市長の想いは。

**A** 市長 意識改革を進め、環境問題にも取り組み。



きれいに分別された回収場所（市役所前）

ごみ袋有料化の再検討を

有料化により動機づけ

**Q** ①生活困窮者や障がい者、高齢者世帯や子育て世帯に費用が増すため、考え直せ。②水切りグッズや段ボールコンポストは希望者全員に配り、ごみ減量化の動機づけを。③試行期間2年を設けよ。④30年度予算立てのごみ袋有料化なのか。

**A** ⑤民間委託のごみ処理費が不要になり、その約5千万円の差額で、ごみ減量化運動を進め、有料化は一旦やめよ。

**A** 市民部①減量化目標を設定。②ごみ袋有料化とあわせて各種減量施策に取り組む。③予定なし。④さらなるごみ減



木津川の会  
森本 茂

量化のため提案した。⑤インセンティブで、収益はごみ減量化に充てる。

水害の対策は待ったなし

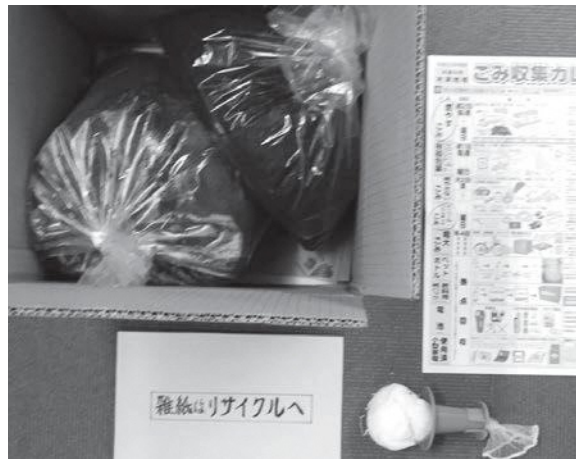
**Q** ①今後の対策は。②貯留施設を。③床上浸水宅にお見舞金を。

**A** 総務部・建設部①30年毎分30トンの排水ポンプ車を導入予定。常設排水ポンプの増設を検討。②国・府と協議。③考えていない。

城山台の交通安全対策は

**Q** 城山台地区では、交通事故が多発。交通安全対策と注意喚起策は。

**A** 総務部 地元と協議し、看板・カーブミラー等対応する。



有料化より先にごみ減量化運動を  
(段ボールコンポスト・水切りグッズ等)



台風21号で大規模に冠水した加茂町大野地区

床下浸水や非住家にも復旧支援を

現時点では考えない

**Q** 台風21号で各地に被害が発生している。この5年間で水害は減少したか。

床下浸水11軒、工場浸水5件、農業用倉庫浸水5件、道路崩壊など39カ所。被害は軽減している。

市は床上浸水の住宅に見舞金を出しているが、それ以外の被害にも見舞金や復旧支援をせよ。

**A** 総務部・建設部他 被害は床上浸水1軒、

床下浸水で1地域から、農業用倉庫では3件から見舞金や補償の要求が出ているが、現時点で見舞金や補償は考えていない。



日本共産党  
酒井 弘一

幼稚園と学校のエアコン

**Q** エアコンの一斉設置を歓迎する。PFI

手法の特徴と利点は何か。今後の日程は。情報の公開と決定の透明化が特に必要。どう取り組むか。幼稚園と学校現場との意見交換を大事にせよ。

**A** 教育部 利点は、コスト管理の効率化と削減、一体的な事業推進負担の平準化など。2018年4月上旬に業者を決定し、2019年6月に供用開始。随時、議会に情報を提供する。

他に「便利なコミュニケーション」の質問をした。





南加茂台地区の再生を（自治会パンフレット）

幼稚園給食提供を続けよ

給食提供に向け引き続き努力

**Q** 市は10月2日に幼稚園の給食休止の文書を保護者に配布した。原因は児童生徒数の増加である。学校給食センターの調理能力から考えると31年度も給食の提供は可能であり、継続して実施するべきではないか。

**A** 教育部 30年度は、従来通りの給食を行う方向。31年度は週1回の給食、残る2回をデリバリー給食とする場合、差額は公費負担を検討。消毒保管庫の容量等安全な体制での給食と総合的な観点からも判断した。



会派に属さない  
九社前隼朗

**Q** 給食施設など公共施設のごみを事業系ごみとして処理しなかったのは、不法投棄に当たるのでは。

**A** 市民部 率先して減量に取り組むため処理方法を変更。不法投棄

したことはない。

南加茂台地区再生プラン

**Q** 南加茂台自治会パンフレットには、保育園・公民館を中心に、暮らしに快適な住宅地の紹介がある。

**A** 健康福祉部 いづみ保育園を拠点に、子ども園に移行する計画であるが、再検討を。

指定ごみ袋制の提案を撤回せよ  
撤回するつもりはない

**Q** ①減量努力で1人が出すごみ排出量は減っている。事業系ごみは1・5倍増。  
②8年後の目標は燃やすごみ311gではなく311・8g。廃プラごみは15gではなく14・2g。合計は326gだが、間違った数値を訂正せよ。

**A** ③9月に指摘した以外にも間違いがある。ごみ有料化議案を撤回せよ。

**市長・市民部** ①家庭ごみはわずかに減少しているが、ほぼ横ばい。事業系ごみの減量が必要。②端数処理で311gと15gだ。訂正はしない。③撤回するつもりはない。

**市民部** ①保険給付費が増え、見直しは避けられない。②繰入継続を検討する。③府の仮算



日本共産党  
宮嶋 良造

**Q** ①税率見直しの根拠は。②一般会計からの繰り入れをやめるのか。③国保税の試算額は。

**A** 建設部・教育部 ①7カ所22の健康器具がある。増やす計画はない。②通行障害となり困難だ。

健康づくりを応援

**Q** ①公園に健康器具を設置しては。②遊歩道にひと休みできるベンチの設置を。

**A** 建設部・教育部 ①7カ所22の健康器具がある。増やす計画はない。②通行障害となり困難だ。



健康器具で体力づくり

河川占用許可の現状と課題は

占用による周辺への影響を無くす

**Q** 占用許可の規定は。

**A** 建設部 準用河川の  
占用許可は、河川法  
24条と26条による。

**Q** 申請状況は。

**A** 建設部 新規申請は  
26年度6件、27年度  
2件、28年度1件。

**Q** 占用料は。

**A** 建設部 29年度は4  
万1320円の徴収  
で、算定基準は道路占用  
料を準用。

**Q** 普通河川は。

**A** 建設部 河川法は適  
用されないが、市が



さくら会  
山本 和延

河川管理者であり、占用  
による流水の阻害等が無  
いよう協議している。

**Q** 今後の方針は。

**A** 建設部 占用許可の  
可否は、占用物件が  
周辺環境に及ぼす影響が  
ないか、もしくは最小限  
になるように配慮する。

市営住宅の申込み基準は

**Q** 申込者の所得基準の  
見直しは。

**A** 建設部 公営住宅法、  
公営住宅法施行令に  
基づく。

**Q** 見直す予定はない。  
申込者の家族構成へ  
の配慮は。

**A** 建設部 市営住宅管  
理条例等の基準があ  
り、高齢者や単身者世帯  
の方も申し込みができる。



市営住宅（下川原団地）

道路表示の取り組みは

現地状況を確認し実施している

**Q** 市内道路の中央線・  
外側線・横断歩道・  
止まれ表示が、薄くな  
ったり、消えていたりし  
ている。危険箇所から早  
急に改善すべき。  
市の取り組みは。

議等で指摘があった路線  
等の現地状況を確認し、  
実施している。

**A** 建設部・総務部 計  
画的に市内の主要な  
道路・通学路安全推進會

の道路標示は、道路交通  
法に基づき、府公安委員  
会が設置するもので、木  
津警察署を通じ、府公安  
委員会に修繕の要望をし  
ている。



民主未来クラブ  
長岡 一夫

**Q** 郵便局の路上駐車対策は  
山城木津郵便局の駐  
車スペースが狭いた  
め、路上駐車や駐車待ち  
の車が多く、地域住民の  
通行の妨げになっている。  
地元から、25年に要望  
書が出されている。  
その後の経過と今後の

取り組みは。  
**A** 総務部 山城木津郵  
便局からは、年末年  
始には交通安全整備員を配置  
するなど、一般車両や通  
行者の交通安全の確保に  
努めるとの回答があった。  
引き続き要望していく。



消えかけた横断歩道（市道335号）



地域の活性化として期待される（木津川アート2016）

30年度予算は見直しが必要

全ての事業をゼロベースで見直す



さくら会

尾崎 輝雄

す設定をした。

市の観光事業は

合併して10年が経過。市も、観光事業として、見えてきたものがあると思う。木津川アートを中心に各地域の活性化にも知恵が見出されてき

た。①DMOについて、市の期待は。②観光事業の方向は。③観光協会の役割は。

**A** マチオモイ①観光地域づくりの主軸と期待している。②地域産業へとつながる観光地域づくりを進める。③観光協会はDMOに対しての営業部門である。

**Q** 28年度一般会計決算が悪化した。現在、30年度予算編成を受けて、予算要求が行われている。①地方交付税減額見込み額は。②予算要求にあたり、行革観点からの取り組みは。③予算編成にあたり、予算削減目標は。

**A** 総務部①29年度交付見込み額と比較し、普通交付税合併算定替特例措置通減分として、約1億2700万円の減少を見込んでいる。②財政健全化に向け、全ての事業をゼロベースで見直す。③一般財源総額を前年度比10%以上の削減を目指す。

ごみ袋7Lから5Lに変更可能か  
必要なら再度検討

**Q** ごみ袋の4種類の変更は可能なのか。

**A** 市民部 P D C A サイクルに基づいて検証の予定しており、ごみ袋の種類変更が必要となったら再度検討する。

**A** 市民部 実践事例を今後紹介する中で、市民の中で減量施策が広がっていくような形で進める考えである。

**Q** 家庭のできるごみ減量方法の情報提供については。

**A** 市民部 30年8月に4種類2枚ずつ配布。

**Q** お試し袋の枚数は。

**A** 市民部 30年8月に4種類2枚ずつ配布。



民主未来クラブ

河口 靖子

水道管の漏水対策は

**Q** 水道管の破裂や漏水対策のパトロールは。

**A** 上下水道部 パトロール専任職員での確認は行っていない。建設部での道路パトロールと市民からの通報によることが多い。

**Q** 普段のパトロールと漏水検査は必要と考えるが対策すべきである。

**A** 上下水道部 漏水調査は必要と認識している。漏水調査には1キロ当たり3万円程度の調査委託料が必要。その費用は投じられない現状である。



ごみ有料袋のサイズ（30年10月実施）

空家対策のその後は

協議会で審議 年度内に運用開始

**Q** 空家対策協議会を設け、進捗状況は。

**A** 市民部 これまで4回の協議会を開催。特定空家の基準に関する答申を受け、年度内に運用を進める。また、空家対策計画も29年度の策定に向け、審議中。

木津川は泣いている

**Q** 以前の一般質問で、

「国道24号泉大橋周辺の河川敷エリアを市民が木津川に親しみ、市内外の交流が進む空間と位置づけ、水に親しむ空間の場所として検討する。また、同所を国営公園の設



日本共産党

森岡 譲

置を国に要望する」との答弁であったが、現在の状況は。

**A** 建設部 具体的な進捗はない。今後も要望を行っていく。

災害に強いまちづくりを

**Q** 台風21号で南後背地で床下浸水が発生。これは、円度川、南後背川を経て二ツ樋排水樋門へ流れ込むが、排水能力は十分なのか。また、避難勧告で一部混乱があったが、今後の対応は。

**A** 建設部・総務部 30年度に毎分10トンのパッケージポンプを導入する。

また、避難勧告の対応マニュアルを整備する。



浸水被害の軽減に期待 (赤田川水門)

内水対策は大丈夫か

排水ポンプ増設で対策

**Q** ①台風21号の降雨により、床上・床下浸水が発生したが、内水対策は大丈夫か。②加茂町大野山崩落の対策は。③山城町西ノ口川の土砂しゅんせつを。④避難勧告・指示は適切か。

**A** 建設部・総務部 ①樋門を閉め内水排除で

城山台の交通事故対策

①台風21号の降雨に对应。29、30年度もパッケージポンプを導入予定。②府事業として対応。③水路の勾配が緩く土砂が堆積しやすいため毎年しゅんせつを実施。④適切。早めの指示で人命優先。

建設部・総務部 ①樋門を閉め内水排除で

**Q** ①まち開き以来、事故が多発。カーブミラー・停止線等の充実を。②安心安全のまちづくりマップを作成しては。

健康福祉部 ①保育定員増加。0歳児の対策を検討する。②子育てワンストップサービスを開始され運用に努力。

**A** 健康福祉部 ①保育定員増加。0歳児の対策を検討する。②子育てワンストップサービスを開始され運用に努力。



公明党

島野 均

②府警で交通事故発生マップを作成。

待機児童解消を

**Q** ①ガイドラインで待機児童は解消されているのか。②申込時マイナンバーカードで簡素にならないか。



二ツ樋排水樋門の能力向上へ



児童虐待相談専用ダイヤル (☎74-8556)

児童虐待のさらなる対策強化を

相談専用ダイヤルを開設した

**Q** ①継続対応件数を含めて、現在の実数は。②専用ダイヤルにつき、いまだHPの記載がないが。③主体的に虐待防止に努めよ。子ども家庭総合支援拠点の取り組みは。

**A** 健康福祉部①136件。②早速、HPに記載し、周知する。業務時間外の対応も検討する。③未然防止として、子育て世代包括支援センター(30年1月開設)から始める。

市民参画のまちづくりを

**Q** 31年度開始の第2次総合計画への考えは。

**A** ①市民からの提案・提言は重要。取り扱う基準は。データ化し、全職員が閲覧できるように



さくら会

谷口 雄一

な情報共有の仕組みはできないか。②中学生アンケートの結果として、定住意識の低下がみられる目的と対策は。

**A** 政策監・総務部他①規定に基づき、重要なものは市長まで決裁をとる。提案書の類は5年保存。庁内LANの活用を検討する。②市への愛着等を持ってもらうよう実施した。今後も魅力ある施策を展開する。

古田織部を観光資源として活用を

効果・活用など検討が必要

**Q** ①「へうげもの茶宴inみかのはら」の成果は。②集客数は。③今後の開催は。④茶葉の消費拡大の方法は。

**A** マチオモイ①未来につなげた。②5千人。③何らかの事業につなげたい。④若者や子どもがお茶に触れる機会を

増やす。

**Q** ①織部ゆかりの場所に碑を建て、町おこしは。②加茂茶を織部茶とし、織部焼と売り出し

**A** マチオモイ①思いは理解するが、検討が必要。②模索していく。



民主未来クラブ

炭本 範子

ニーズに応える図書館

**Q** 図書館は子どもたちの豊かな心を育み、地域住民の生涯学習の場

**A** ①図書館3館の休館日と開館時間を9時30分に統一を。②自習できる部屋、赤ちゃん室の確保、至福

の時間を過ごせるフリースペースの確保は。③移動図書館を山間部にも。④新興住宅地に図書館を。

**A** 教育部①図書館協議会で検討したい。②現施設では困難。③④考えていない。

**Q** 加茂保健センター1階は利用が少ない。図書館の一部に利用して

どうか。

**A** 健康福祉部 考えはない。



本棚の配置を変えティーンズコーナーに

加茂プラネタリウム館の存続を

「ふおとん」を利用する

**Q** プラネタリウム館の役割とは。他の社会教育施設は黒字なのか。

**A** 教育部・市長室 ①創設に役立ち、広く市民に活用される施設。黒字の必要はないが収支不足の5286人。

②入場者数減を閉館理由の一つとするが、開館3年後は5300人台。28年度の来館者数は。

③両施設を見比べたのか。④地元からの要望は。

⑤新聞で突然閉館を知った。非常に分かりやすかった。

ふおとんとは、今後要望を出し、十分協議する。

④指定避難所であり、当尾地区への説明と理解を得ることと施設の存続。

⑤30年3月末日の事業終了で解職（解雇）となる。



日本共産党 西山幸千子

スズメバチ駆除に助成を

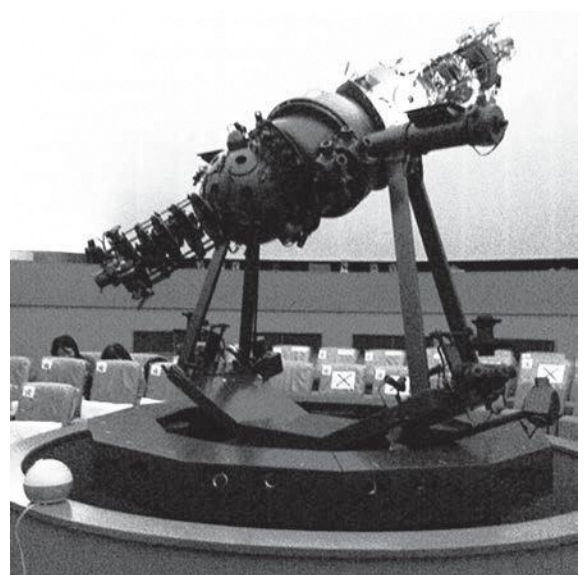
**Q** 市の紹介の駆除業者は5万円前後。行政が行うことで安価になる。

**A** 市民部 委託も助成も検討していない。

新幹線より在来線充実を

**Q** 北陸新幹線南部ルートは市民の交通の利便性を高めるのか。

**A** 政策監 30年後、駅の整備で向上する。



まだまだ使えるプラネタリウム投影機

国道重複区間等の問題解決を

さらさら国と連携し取り組む

**Q** ①泉大橋の橋脚3基の耐震補強が残っているが、国への要望は。

②井関川橋改修工事に伴う通過車両の安全確保は。

③木津東バイパスの構造は。

④国と市は、地域住民へ説明を行っているのか。

**A** 建設部 ①国からは、2021年度までに完了予定と聞いている。

②安全に配慮された工事計画がされていると認識。

③車道幅員3・25m、歩道幅員4m、全幅員16m。

④地域長への説明や回覧等で周知を行っている。

災害対策の取り組みは

**Q** ①市として、気候モデルのチェックと試算は万全か。

②地域の行動のシミュレーションや場所のリスクの計算はできているのか。

③河川の危険箇所リストの策定は。

④関係機関と情報共有は。

⑤緊急対応に関する体制は万全か。

**A** 総務部 ①チェックはしていないが、危険箇所は把握。

②木津川の氾濫を想定した避難判断マニュアルを作成。

③作成はしていない。

④毎年、防災会議で、情報の共有、連絡体制の構築に努めている。

⑤防災訓練等を実施し、意識向上に努めている。



重要な交通アクセスとして早期完成が待たれる木津東バイパス（起工式）



木津川の会 片岡 廣

11月11日

# 市民と議会のつどい

9月定例会の審議結果の説明やごみ袋有料化について、市民の皆さんと意見交換を行った。

加茂文化センター  
(参加者15人)



**Q** 戸別受信機を要望しているが、進んでいない。  
**A** 市は安価にできないかを検討している。もう少し時間がかかると聞いている。

**Q** 幼小中の普通教室のエアコン設置について、2018年の夏には稼働できるのか。  
**A** 2018年の夏休み以降に工事、2019年の夏から稼働予定と聞いている。

ごみ有料指定袋制

○ごみを減らすために有料化を実施するという理屈はどうなのか。  
○不法投棄のパトロールを増やすなら、お金がかかってでも投棄されやすい時間帯もしてほしい。  
○ごみを多く出す家庭と出さない家庭があるので、相当の負担は当然。

山城支所別館  
(参加者8人)



**Q** 空き家があるが、法律ができたと思う。崩壊寸前の空き家の対策はどうなっているのか。

**A** 遅くなったが、市の審議会も立ち上がった。特定空家の認定には時間がかかるが、進めるよう、行政に伝える。

ごみ有料指定袋制

○山城地域は、拠点収集であり、粗大ごみの際には、その地域ではないごみが出ていた。対応を。  
○市販のごみ袋と値段が違う。クリーンセンター稼働にあわせての有料化には疑問。  
○金額は高くしないと減量しない。お金の使い道を特別会計にして、ごみの回収費用やコンポストなどに使うことには賛成。

東部交流会館  
(参加者36人)



**Q** 防災行政無線の内容が伝わっていないが、対策は。  
**A** このことは議会でも繰り返し取り上げてきた。伝達には、ホームページ・防災情報メール等あり。利用してほしい。

**Q** 排水ポンプ車は、28年度も購入しており、継ぎ足し継ぎ足しになっているのでは。  
**A** 根本的な解決にはもっと大きな排水能力が必要。国土交通省へも要望している。

ごみ有料指定袋制

○ごみ袋の単価1リットル1円は高すぎる。生ごみの水切りで、ごみ減量ができるのでは。  
○有料化よりも減量化の議論をするべき。地球環境の問題と捉えてほしい。  
○猶予期間を設け、ごみ減量に取り組むべき。今の状況では反対。

市長に報告会の概要を報告

今後の市政に生かすため、正副議長と正副議会運営委員長の4人から市長に対し「市民と議会のつどい」の実施報告書を手渡し、各会場での意見等を伝えた。



# わたしの意見

このコーナーへの投稿を  
 お待ちしています。（220字以内）



新川 順一 さん  
 （木津宮ノ内）

## お互いさまの心

私は木津出身ではないものの、縁あって今から5年前に木津川市消防団に入団しました。これまで火事だけではなく、行方不明者の捜索、花火大会の警戒や水

害時の対応などに出動いたしました。  
 ある火事の現場で近所の方が炊き出しのおにぎりを配ってくださったことがあり、今でも忘れることができませぬ。これはただのおにぎりではなく、困った時こそ助け合おうという思いの表れだと思えます。  
 このような思いを私も持てるようにと願いつつ、今後も活動に励みたいと思います。



小森 洋子 さん  
 （南加茂台）

## 子どもたちが輝く保育を

緑が豊かで、文化が薫る、子どもが育つには素晴らしい環境の木津川市は、「子どもは宝」を基本理念に掲げています。

ただ希望する保育園に入園したくても入れない待機児童がたくさんいるにも関わらず、公立保育園の統廃合や民営化が計画されています。「公立は公立のままで」を願うところですが、公立であれ、私立であれ、行政が責任を持って、どの子ども全ての子どもたちが心豊かに、健やかに育っていくできるよう、保育行政をつかさどっていただきたいと思います。



松本 知毅 さん  
 （山城町平尾）

## 宇治茶の良さを 全国・世界に発信

木津川市は、昔から良質茶の栽培が盛んに行われ、木津川の水運と共に老舗の茶商が製茶を集め、集荷地として「茶のまち山城」の

基礎を築かれました。  
 今年は「お茶の京都博」と銘打って、宇治茶の魅力を海外に向け、発信すべく、山城地域でいろいろな催しが行われております。  
 私は茶業界に勤めておりましたので、日頃からよくお茶を飲みます。  
 市民の皆様も、いろんな種類のお茶を急須に入れて、飲み比べてみてください。美味しい「宇治茶」に出逢えると思います。

## 編集後記

いよいよ韓国の平昌にて、第23回冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。  
 当分は、日本選手団の活躍に一喜一憂する日々が続きそうです。  
 さて、4月には府知事選挙が実施されます。  
 12月議会では、イオンモール高の原に期日前投票所が新設される予算案が可決され、他にも多くの重要案

件が審議されました。是非、じっくりとご覧ください。  
 谷口 雄一

- 広報編集委員会
- |           |           |
|-----------|-----------|
| 委員長       | 河 口 靖 子   |
| 副委員長      | 柴 田 は す み |
| 委員        | 谷 口 雄 一   |
| 森 本 隆     | 森 本 茂     |
| 伊 藤 紀 味 枝 | 伊 藤 紀 味 枝 |
| 西 岡 政 治   | 西 岡 政 治   |
| 酒 井 弘 一   | 酒 井 弘 一   |

## お知らせ

3月定例会は2月22日(木)からはじまります。  
 詳しい日程は、10ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

0774-75-1240  
 0774-72-8952  
 E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp